

平成27年2月の地震活動及び火山活動について

平成27年2月の地震活動及び火山活動について解説します。

○ [地震活動]

・ 全国の地震活動

2月6日10時25分に徳島県南部の深さ11kmでM5.1の地震が発生し、徳島県牟岐町(むぎちょう)で最大震度5強を観測しました。

2月17日08時06分に三陸沖の深さ13kmでM6.9の地震(最大震度4)が発生し、岩手県久慈港(国土交通省港湾局)で27cmの津波を観測したほか、北海道から岩手県にかけての太平洋沿岸で微弱な津波を観測しました。

2月17日13時46分に岩手県沖の深さ50kmでM5.7の地震が発生し、青森県階上町(はしかみちょう)で最大震度5強を観測しました。

全国で震度3以上を観測した地震の回数は13回、日本及びその周辺におけるM4.0以上の地震の回数は108回でした。

震度3以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙1のとおりです。また、世界の主な地震は別紙2のとおりです。

・ 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震活動

(平成27年2月の活動)

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震は、次第に少なくなっているものの続いており、最大震度4以上を観測した地震が3回、震度1以上を観測した地震が68回発生するなど、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生しました。

国土地理院のGNSS連続観測結果によると、引き続き東北地方から関東・中部地方の広い範囲で、徐々に小さくなってきてはいますが、余効変動と考えられる東向きの地殻変動が観測されています。

○ [火山活動]

御嶽山では、火山活動は引き続き低下してきており、現状では、2014年9月27日と同程度、またはそれを上回る規模の噴火が発生する可能性は低くなっていますが、火口列からの噴煙活動や地震活動は続いており、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。火口から概ね3km程度の範囲では大きな噴石の飛散と火砕流に警戒してください。

桜島では、爆発的噴火が発生するなど活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

口永良部島では、噴火は発生しませんでした。噴煙活動等は継続しており、今後も2014年8月3日と同程度の噴火が発生する可能性があります。また、火山ガス観測や地殻変動観測によると、今後、爆発力が強い噴火や規模の大きな噴火に移行する可能性がありますので、火山活動の推移を引き続き注意深く見守る必要があります。新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。

西之島では、噴火及び溶岩の流出が継続し新たに形成された陸地の拡大が確認されています。24日に火口周辺警報（入山危険）を切替え、西之島周辺での警戒が必要な範囲を、島の中心から概ね4kmに縮小しました。西之島の中心から概ね4km以内の範囲では噴火に警戒してください。

吾妻山では、14日に火山性微動が発生しました。また、24日から25日にかけて火山性地震が増加し、振幅の大きな地震も発生するなど、火山活動は活発な状態で推移しています。大穴火口から概ね500mの範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

草津白根山では、23日から24日にかけて火山性地震が一時的に増加しました。湯釜付近の膨張を示す地殻変動が認められるほか、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられています。湯釜火口から概ね1kmの範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

阿蘇山では、中岳第一火口で、連続的な噴火が発生しています。中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（新燃岳）では、北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013年12月頃から伸びの傾向がみられます。火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、火山性地震が時々発生しています。表面現象に異常は見つかっていませんが、地震活動が継続していますので、えびの高原の硫黄山から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

諏訪之瀬島では、爆発的噴火が12回発生するなど、活発な火山活動が継続しました。火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

十勝岳では、水蒸気噴火の兆候は認められなくなったことから、24日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げました。

蔵王山では、11日に火山性微動が発生しました。登山等で火口に近づく際には十分注意してください。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

日本の主な火山活動の概況は別紙3のとおりです。また、世界の主な火山活動は別紙4のとおりです。

- 注1：噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となります。
- 注2：国土地理院のGNSSによる地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成27年2月の地殻変動について」を参照願います。
<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2015-goudou0309.html>
- 注3：気象庁の地震活動資料には、気象庁、防災科学技術研究所及び大学等関係機関のデータが使われています。
- 注4：地震活動及び火山活動の詳細については、「地震・火山月報（防災編）」平成27年2月号をご覧ください。
- 注5：平成27年3月の地震活動及び火山活動については、平成27年4月8日に発表の予定です。